

2018年11月21日

～京急電鉄として初めてのベンチャーキャピタルファンドへの出資を実施～ ベンチャーキャピタルファンドへの戦略的出資を実施し、 ベンチャー・スタートアップ企業とのオープンイノベーション を加速します

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区、社長：原田 一之、以下 京急電鉄）は、株式会社サムライインキュベイト（本社：東京都品川区、代表取締役：榊原 健太郎）が運営するベンチャーキャピタルファンド「Samurai Incubate Fund6号投資事業有限責任組合」に戦略的出資を実行いたします。当社がベンチャーキャピタルファンドへ出資を行うのは初めてとなります。

当社は、ベンチャー・スタートアップ企業とともに、既存のビジネスモデルをアップデートし、沿線を中心とする都市生活に新しい価値を生み出すことを目指す「KEIKYU ACCELERATOR PROGRAM（京急アクセラレータープログラム）」を実施するなど、取り組みを強化しております。

今回の出資により、最新のビジネストrend等に関する情報収集やベンチャー・スタートアップ企業との接点拡大を図るほか、オープンイノベーションによる事業共創ノウハウを獲得・強化していくことを目指します。

同ファンドは主に創業期のベンチャー・スタートアップ企業に対し投資および支援を行うことから、成長初期の段階においては「KEIKYU ACCELERATOR PROGRAM」の枠組みを活用するなど、切れ目のないオープンイノベーション体制を構築します。

人口減少や高齢化の進展など、当社の事業環境は厳しさを増しています。テクノロジーによって日本が直面する社会課題に挑戦する企業との連携を積極的に進めることで、沿線地域の持続的発展に寄与してまいります。

京急電鉄は、今後とも国内外のベンチャー・スタートアップ企業やベンチャーキャピタル等との連携を通じ、更なる企業価値の向上に一層の努力を行ってまいります。

1. 株式会社サムライインキュベート 会社概要

代表者	代表取締役 榊原 健太郎
所在地	東京都品川区東品川2-2-28 タチバナビル2F
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の創業期スタートアップ企業へ出資・インキュベーションを行うベンチャーキャピタル業 ・事業会社のアクセラレーターをはじめとするオープンイノベーションや企業内新事業創出支援などを行うイノベーション支援事業

2. Samurai Incubate Fund6号投資事業有限責任組合 概要

投資対象	日本・イスラエル・東アフリカ諸国のいずれかを拠点として、ICT領域関連の事業を主たる事業とする、創業又は成長初期の段階にあるシードステージのベンチャー企業
ファンド総額	30億円（予定）
運用期間	2018年1月11日から2027年12月31日まで（但し、最大3年間の延長可能性あり）

3. 当社とベンチャーキャピタルファンドとの連携イメージ

